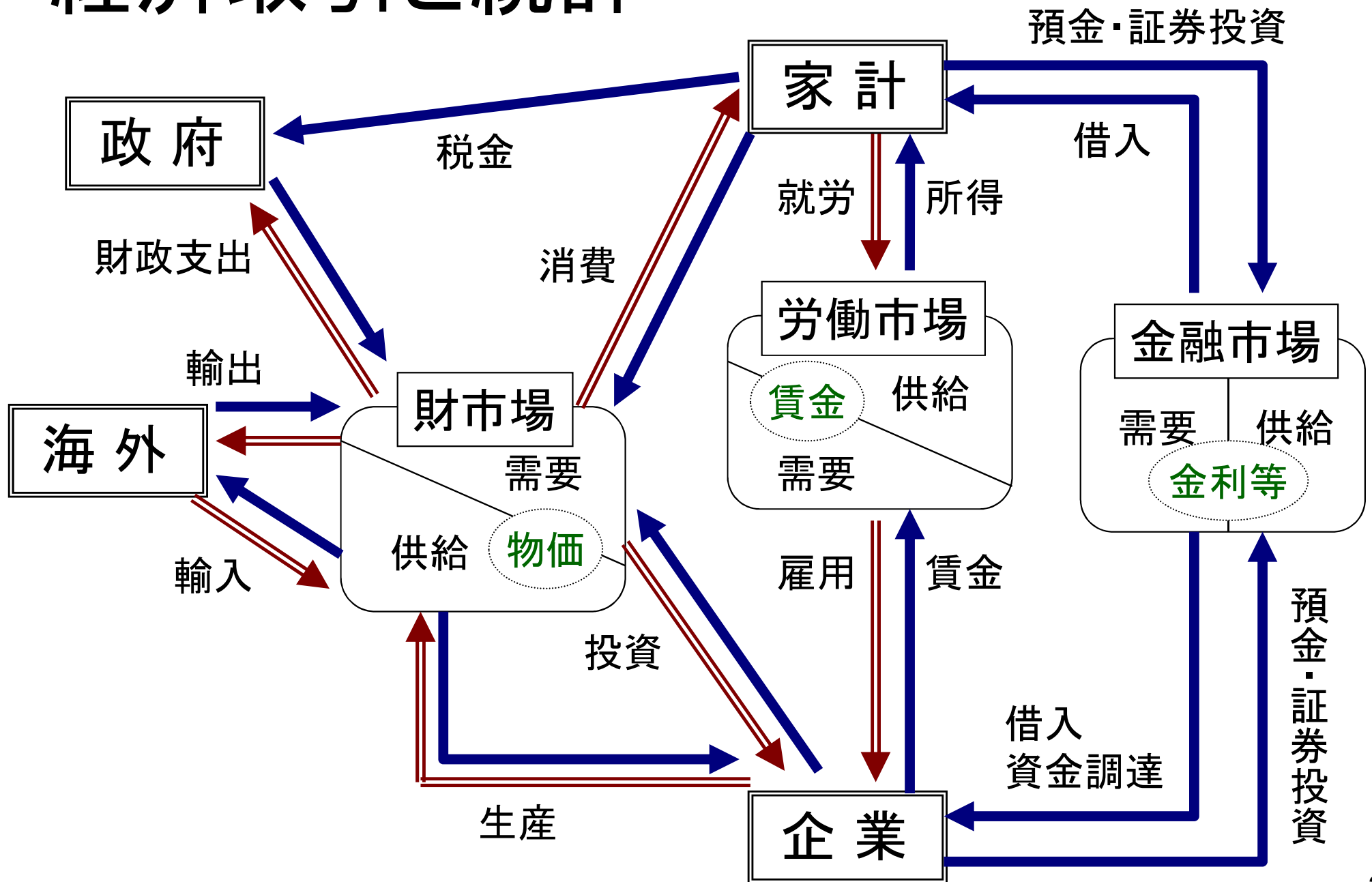


5. 経済統計の種類

経済統計分析
(2015年度春学期)

経済取引と統計



経済取引と統計

■ 財市場関連統計

- 消費関連統計：家計調査(総務省)、業界統計(百貨店協会、チェーンストア協会等)等
- 投資関連統計：法人企業統計(財務省)、機械受注(内閣府)等
- 生産関連統計：鉱工業生産指数(経産省)、第三次産業活動指数(経産省)等
- 物価関連統計：消費者物価指数(総務省)、卸売物価指数(日銀)等

■ 財政関連統計

- 財政統計(財務省)、地方財政統計(総務省)等

■ 貿易関連統計

- 貿易統計(財務省)、国際収支統計(財務省・日銀)等

■ 労働市場関連統計

- 雇用関連統計：労働力調査(総務省)、毎月勤労統計(厚労省)等
- 賃金関連統計：毎月勤労統計(厚労省)等

■ 金融市場関連統計

- 金融経済統計(日銀)等

統計の種類①

- マクロ・データとミクロ・データ
 - マクロ・データ …… 全国集計データ等
 - セミマクロ・データ …… 地域別データ、産業別データ等
 - ミクロ・データ …… 個々の家計別、企業別データ等
- 時系列データとクロスセクション(横断面)データ
 - 時系列データ: 年次、半期、四半期、月次、日次…
 - クロスセクション・データ: 1時点の都道府県別、産業別、企業別等
 - パネル・データ: 時系列×クロスセクションの組合せ
- フロー・データとストック・データ
 - フロー・データ = 一定期間内の取引量
 - スtock・データ = フローの蓄積

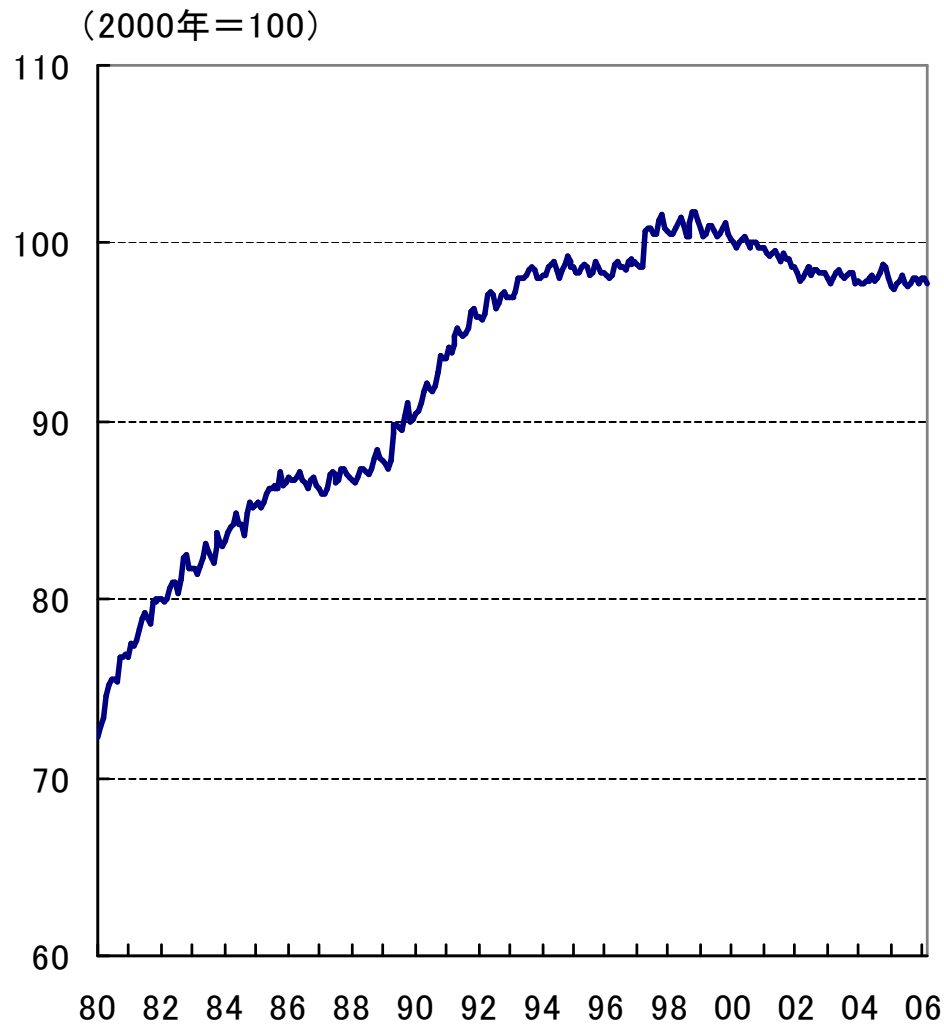
統計の種類②

- 実額データと指数データ
 - 指数データ: 基準時点の数値を100等に標準化
- 「量的」データと「質的」データ
 - 量的データ: 取引数量、金額、価格等
 - 質的データ(サーベイ・データ): アンケートの回答
(Yes/No、○段階評価等)
- サンプル調査(標本調査)と全数調査
(注) サンプル・バイアスの問題
- 一次統計と二次統計

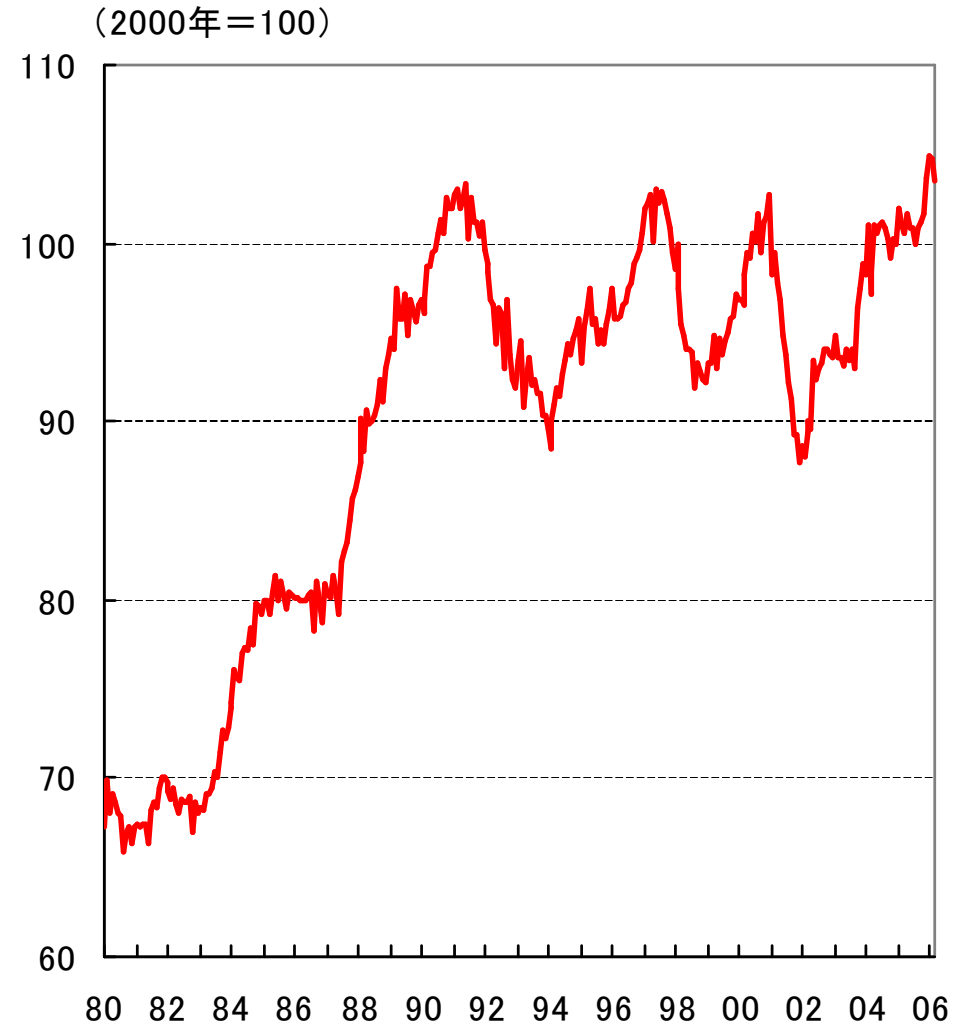
指数データの例

消費者物価指数、鉱工業生産指数

消費者物価指数

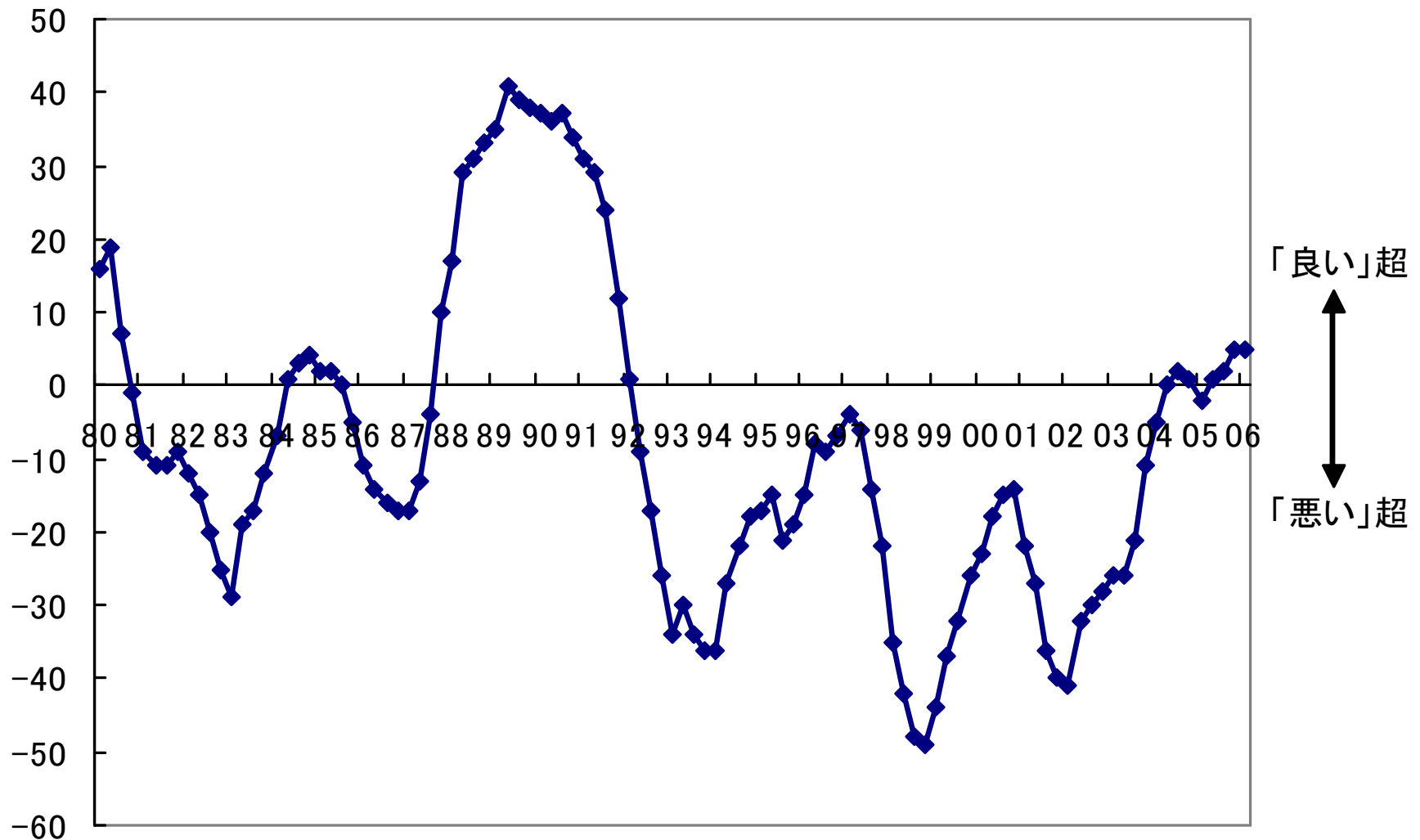


鉱工業生産指数



質的データの例①

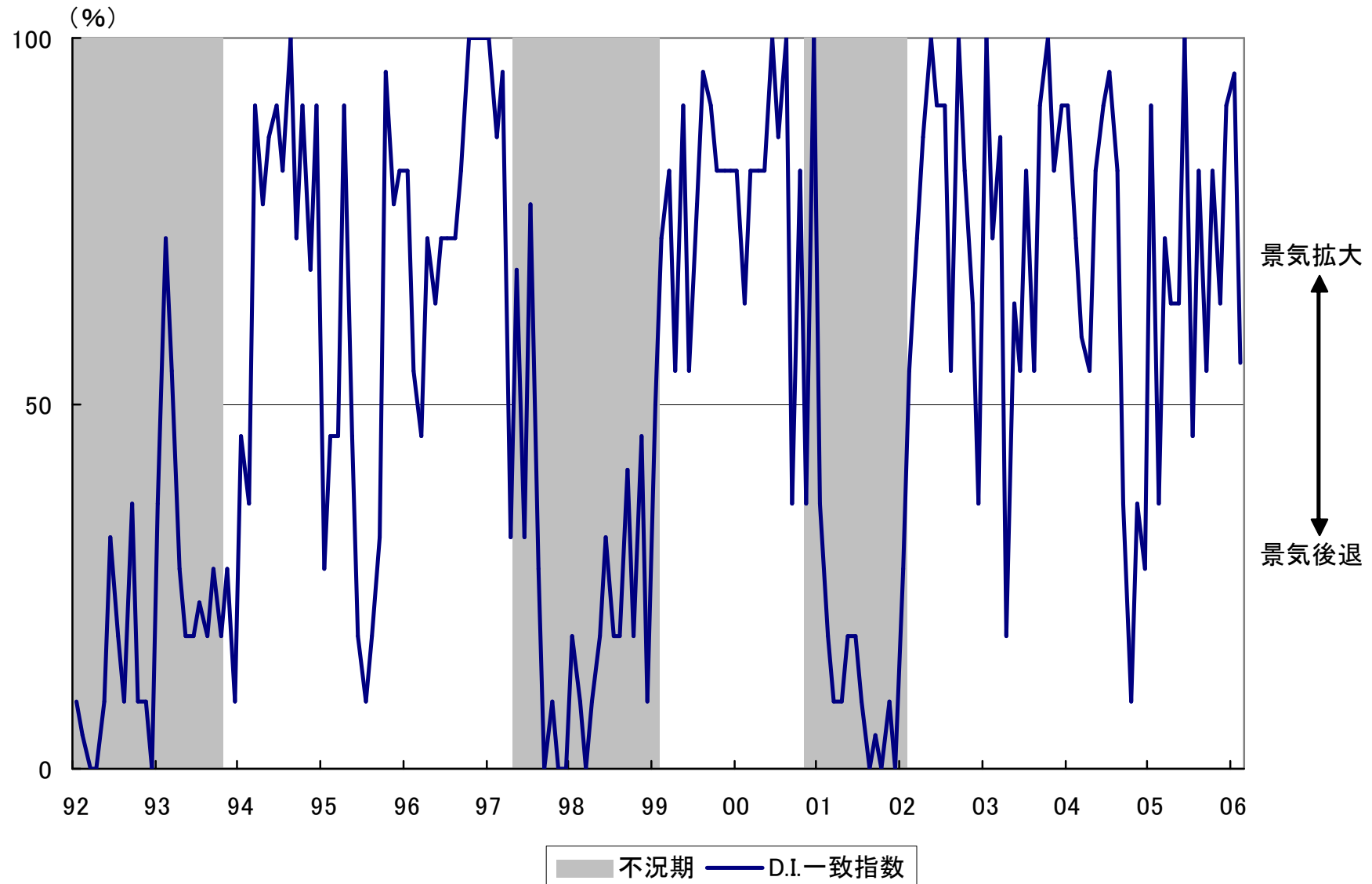
日銀短観 業況判断DI



(注)「良い」と応えた企業割合が「悪い」と応えた企業割合をどれだけ上回っているかを示す
「良い」「悪い」の程度は直接反映はされない

質的データの例②

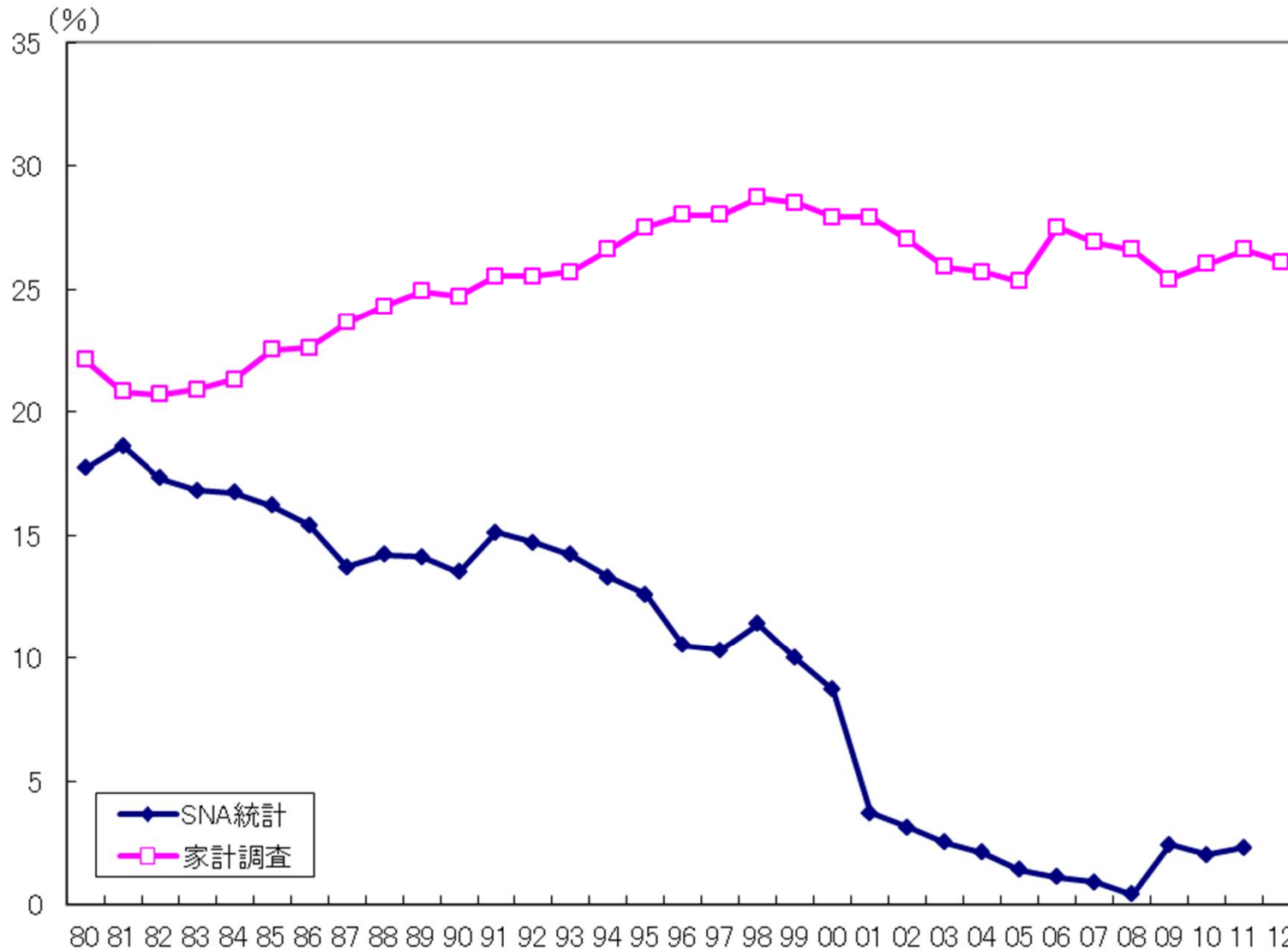
景気動向指数DI(一致指数)



(注) 景気に感応的な指標のうち、拡大している指標の割合を示す(拡大の程度は直接は反映されない)

統計のクセ

(例1) 貯蓄率：SNA統計 vs 家計調査 ①



(出所)内閣府 国民経済計算、総務省 家計調査

統計のクセ

(例1) 貯蓄率：SNA統計 vs 家計調査 ②

乖離の要因

■ サンプル・バイアス

- 家計調査はサラリーマン世帯のみ(無職、自営業含まず)・・・特に高齢無職世帯の影響？

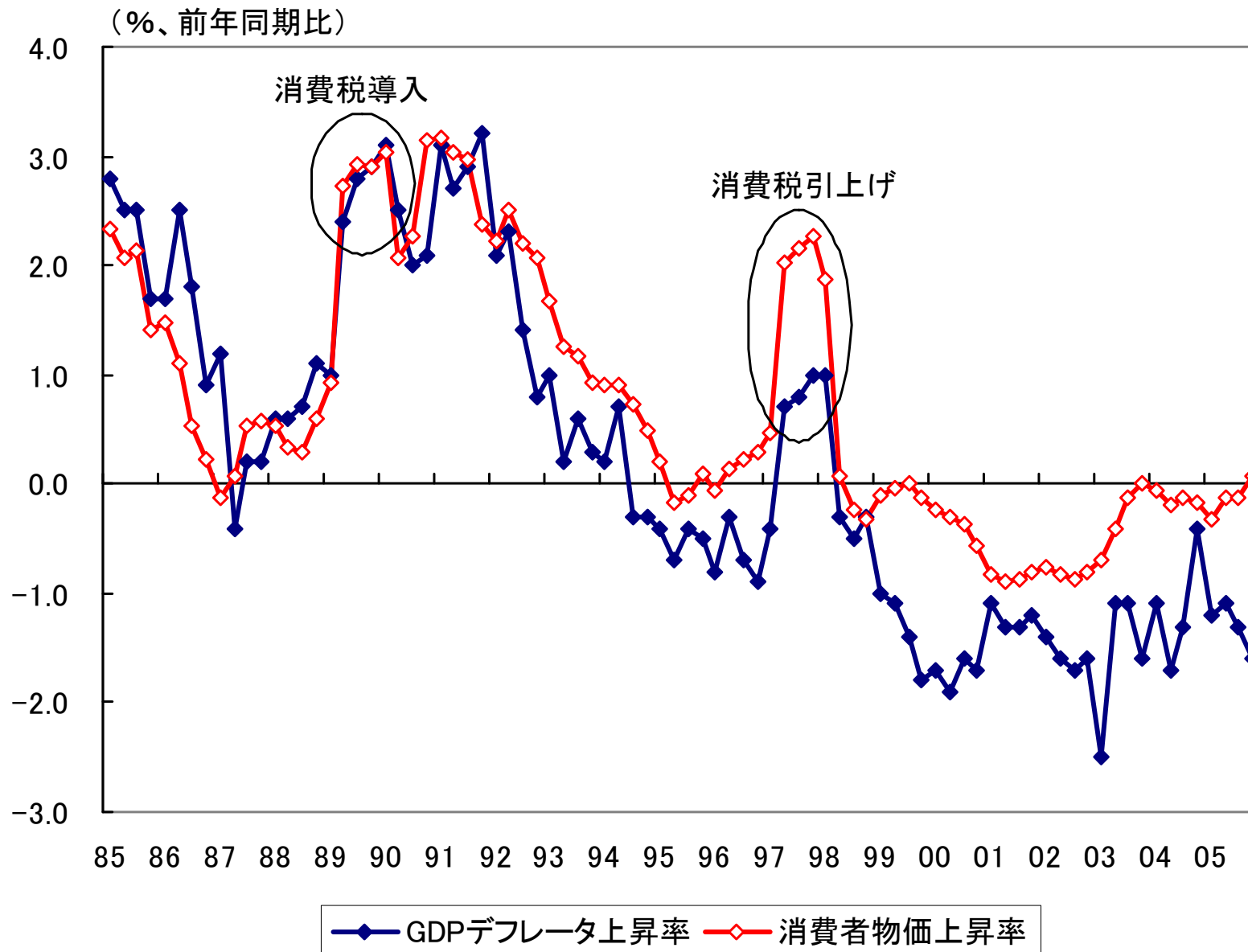
※ 無職・自営業は収入のデータ無し(消費データのみ有り)

■ 帰属家賃の扱い

- SNAでは、持ち家の場合も、仮想的な家賃(帰属家賃)の支払いを計上
- 家計調査では計上せず

統計のクセ

(例2) GDPデフレーター vs 消費者物価指数 ①



統計のクセ

(例2) GDPデフレーター vs 消費者物価指数 ②

乖離の要因

- 企業の投資財価格の動向
 - 企業の投資財価格、特にPC等の下落が大
 - 消費者物価は投資財価格の動向を反映せず
 - 消費者物価指数の上方バイアス
 - 品質向上の考慮が十分でない
 - 新製品の指数への導入が遅い
 - ディスカウント・ショップ等が含まれない
- ※ 統計の改革により最近ではバイアスは縮小？
- 輸入物価の扱い
 - 円安等により輸入物価が上昇すると、
 - GDPデフレーターでは物価下落要因
 - 消費者物価では物価上昇要因